

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年6月4日

【2018年5月26日～2018年6月1日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドルおよび対円で下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。イタリアで政治の先行き不透明感が高まり世界的に市場のリスク回避姿勢が高まったことに加え、ブラジルでトラック運転手などによるストライキの影響が懸念されたことなどがこうした動きの背景となりました。

ブラジル国内では、5月21日（現地、以下同様）から続いていたトラック運転手などによるストライキが一部で継続し、道路が封鎖されるなど物流網に大きな影響を及ぼしました。ストライキは徐々に解消されつつありますが、国内経済が正常化するには時間を要するとみられます。

経済指標では、30日に1-3月期のGDP（国内総生産）が発表されました。前期比+0.4%、前年比+1.2%とおおむね市場予想通りの結果で、プラス成長が継続しています。また、29日に発表された4月の失業率は12.9%とこちらもおおむね市場予想通りで、前回の13.1%から0.2%ポイント低下しました。

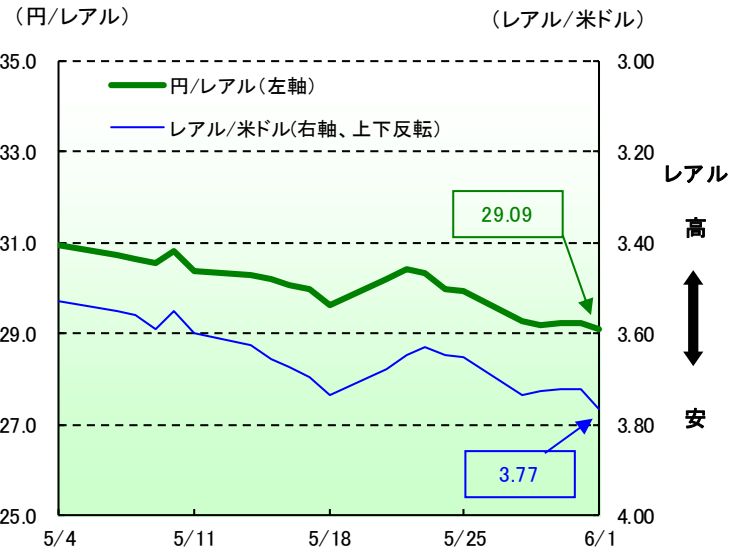
【2】今週の見通し

前述のストライキは収束しつつあるものの、ストライキがブラジル経済にどの程度の影響を与えるか注視する必要があります。

今週は、6日に5月の自動車生産台数が発表されます。ストライキによって自動車の生産ラインが一時的に停止したこともあり、低調な結果になることが予想されます。その他にも、5月の各種インフレ率も発表される予定です。ブラジルの足元のインフレ率は依然低位で推移していますが、ストライキによる品不足を背景にインフレ率が上昇することも考えられます。インフレが加速すれば、ブラジル中央銀行の金融政策スタンスに影響を及ぼすことも予想されるため、注意が必要です。

【ブラジル・レアル 為替推移】

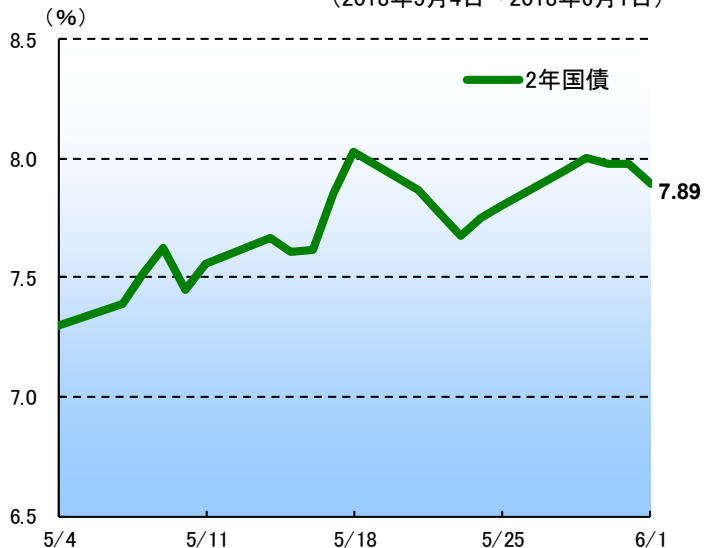
（2018年5月4日～2018年6月1日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

（2018年5月4日～2018年6月1日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management